

平成25年産 津南町認証米 栽培管理記録簿

農林水産省新ガイドライン基準適合栽培

新潟県津南町慣行栽培基準に対し、節減対象農薬の使用回数及び肥料の化学合成チッソ成分量が5割以下

確認者印



栽培及び確認責任者 津南町農業協同組合 営農部 営農センター

最終確認 平成25年11月27日 関沢 真一

生産者 No.	J0049	品 種 名	コシヒカリBL	栽培面積	111 a
圃場筆数	11筆	栽培協定	済	圃場設置及び管理 現地確認月日(月/日)	8/5,

《 耕種概要 》

区分	内容	附記		
育苗管理	種子更新	確認済		
	導入先	JA 種子もみ		
		JA 以外 種子もみ		
	播種月日(月/日)	4/19		
本田管理	育苗様式	中苗		
	田植	時期(月/日) 6/2~6/3		
		植付株数 60 株/坪		
	生育調整	溝切り(月/日) 7/6		
		中干し(月/日) 7/1		
	出穂期(月/日)	8/9		
	倒伏	時期 9月中旬		
		程度 少		
	収穫	時期(月/日) 10/4~10/7		
		生育期間での畦畔への除草剤使用	未使用	
乾燥調整	作業形態	JA5イセンター		
	選別網目	1.90 mm		
作柄・品質	10a当たり収量	470 Kg		
	1等米比率	100 %		
	月/日	出荷量(30kg個)	検査等級	玄米タンパク値(%)
	10/10	82	1等	6.0
	10/10	115	1等	6.0
計	197		6.0	

《 農薬資材使用概要 》

区分	資材名	使用時期(月/日)	使用量または倍率		処理方法	成分回数	成分名
			箱当たり	10a当たり			
育苗	タフブロック	4/15	200倍		24~48時間浸漬	0	トラロマイセスフラバス(カフントなし)
	タチガレン液剤	4/19	1000倍		1.0リッター 床土灌注	1	ヒドロキシソニキサゾール
本田	側条オリビートスタークル顆粒水和剤	6/2		500g	ペース肥料混和	2	プロベナゾール, シンテフラン
	ヤイバジャンボ	6/9		250g	散布	2	フェントラザミドピリミスルファン
後期殺菌	ブラシソール	8/22		8倍	0.8リッター ラジペリ散布	2	フェリムゾン, フラサイド
	MRジョーカーEW	8/22		16倍	100リッター 散布	1	シラフルオフェン
計						8	

①

農薬使用成分回数 慣行栽培基準比 4.3割 (①÷慣行栽培基準19成分回数)

《 肥料資材使用概要 》

区分	資材名	使用時期(月/日)	使用量		10a当たり成分量(Kg)				
			箱当たり	10a当たり	チッソ		りん酸	カリ	その他
					全量	内化学合成			
育苗	ホーネンス培土		2800g	56 Kg	0.03	0.03	0.03	0.03	
	くみあい液肥2号		10g	0.2 Kg	0.02	0.02	0.01	0.02	
	べんとう肥		13g	0.26 Kg	0.03	0.03	0.03	0.03	
追肥	確安		5g	0.1 Kg	0.03	0.03			
	津南堆肥	H24/10/12		1000 Kg	22.00	0.00	27.00	7.70	
土づくり	ワラ分解キング	H24/10/20		10 Kg	0.00	0.00			
	高度ケイサンようりん	5/11		100 Kg	0.00	0.00	20.00		アルカリ45%, けい酸25%, 苦土1%
本田	魚沼ロマンベ-スS220	6/2		30 Kg	3.60	3.45	3.60	3.00	
	けい酸加里プレミアム734	7/11		20 Kg	0.00	0.00		4.00	けい酸34%, 苦土4%, ほう素0.1%
調整肥	魚沼ロマン有機穂肥	7/23		10 Kg	1.00	0.63	0.40	1.20	
	魚沼ロマン有機穂肥	8/1		10 Kg	1.00	0.63	0.40	1.20	
計						4.82			

②

肥料化学合成チッソ成分量 慣行栽培基準比 4.9割 (②÷慣行栽培基準10Kg/10a)